

草津川通水式典（流域住民との連携；こども水の輪会議）

パシフィックコンサルタンツ（株） 小森谷 哲夫

1. 業務概要

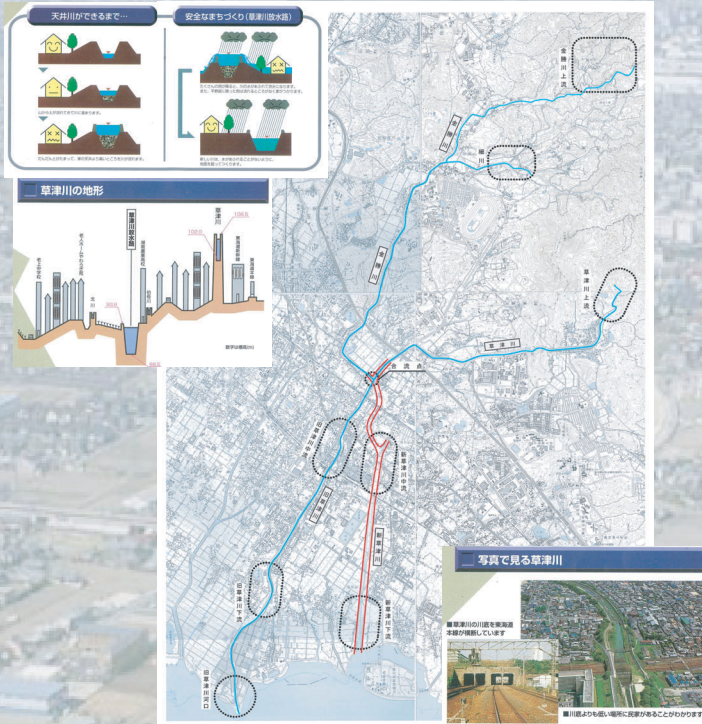
1.1 業務の目的

昭和57年6月の工事着手以来、20年という年月を経て、平成14年6月に草津川放水路（新草津川）が完成した。これを記念して、草津川通水式典が行われることとなった。式典の目的は以下のとおりである。

- 地権者をはじめとする地域への事業完成の報告
 - 草津川放水路事業の意義の広報
 - 今後の河川管理に向けた草津川と地域の連携強化
- 本業務は、草津川通水式典を実施するために、企画から運営までの検討を行うことを目的とする。

1.2 新旧草津川の概要

旧草津川は、全国でも有数の天井川である。河床が市街地地盤高から5～6mも高いところもあり、洪水氾濫によって広範囲に大きな被害を及ぼしてきた。
草津川放水路事業は、こうした洪水被害の軽減を図る目的で、草津川と金勝川の合流点から琵琶湖に向けて放水路（新草津川）を建設し、河道の付替えを行う事業である。



1.3 こども水の輪会議の概要

こども水の輪会議は、式典の目的の一つである草津川と地域の連携強化を図るため、この新草津川でこれから遊び、地域の川として育んでいく子供達を対象に、草津川流域を実際に探検し、草津川の自然や特徴、歴史などを学び、子供の視点から「新草津川の未来の姿」について考えたことを式典において発表することを目的として開催された。

6つの班に分け、班毎にテーマを設定して探検を行い、調べたこと・わかったことをまとめると共に、宣言文や未来の絵という形で表現し、式典で発表した。

■ 結成式の様子



■ 各班のテーマ

班	テーマ	班	テーマ	班	テーマ
1	植物	3	水生生物	5	川の歴史
2	魚	4	水質	6	川の模型

■ 草津川探検の様子



■ 式典での発表の様子



2. 業務の技術的な特徴

本業務は、土木技術とは直接的にはほとんど無関係の、いわゆるイベント運営業務の範疇であるが、以下の点について考慮、工夫を必要とした。

安全の確保

参加者（子供）数が約70名もの数となり、草津川探検実施にあたって、「安全の確保」ができる体制を整えることが、まずは最重要項目であった。

- ・ 事前に、救急病院の場所を調べて、緊急時マニュアルを作成し、参加スタッフ（PCK社員・アルバイト）に周知徹底した。
- ・ 各班リーダー（有志の小学校教員など）と共に、事前現地調査による探検予定場所の安全性及び監視体制（役割分担）の確認を行った。

興味の持続させる工夫

探検はとりまとめを含めて延べ4日間の予定であったため、子供達（＝元来飽きやすい？）に、いかに草津川や土木技術に対する興味をもたせるか、また、その興味を持続させるかについて考えておく必要があった。

- ・ 参加申込ハガキに、希望するテーマ（○印）と、一緒にの班になりたい友達の名前を記入。（できる限り希望するテーマの班になるように配慮、人数の割振り上、希望テーマに添えない場合でも、仲良しグループ単位で同じ班になるように配慮）
- ・ 草津川の代表的な土木構造物であるオランダ土木技師デレークの設計したオランダ堰堤を見学した。
- ・ 各班で工夫メニューを用意した。

■ 各班の工夫メニュー

- 1班（植物）： 草花を使った遊び（ヨシ笛、笹舟、押し花を使ったしおり作り等）
- 2班（魚）： 仕掛けの紹介や投網の体験
- 3班（水生生物）： 琵琶湖博物館の活用（顕微鏡使用等）
- 4班（水質）： 川遊びの紹介・実践（魚釣り、笹舟競争など）
- 5班（川の歴史）： 昔の草津川のことに詳しいボランティアのお年寄りのお話
- 6班（川の模型）： 模型制作に使う自然材料の採取

とりまとめ・成果発表に関する工夫

探検の成果としては、以下の3つとし、これらを式典にて発表することとした。

- ・ 各班の活動報告
- ・ 未来の新草津川の絵
- ・ 新草津川こども宣言

このうち、未来の絵については、各班代表2名ずつ集まって男女それぞれ一つの絵を描くこととしたが、いきなり子供を集めて制約された短い時間の中で描けるか疑問があった。

- ・ とりまとめ日前の回に、全員に「自分の考える未来の新草津川」の絵を宿題として出し、次回（とりまとめ日）に提出させることとした。



新草津川こども宣言

- 新草津川の自然を大切に、多くの生き物がすめる川にします。
- 新草津川が美しい川になるようにゴミをすてません。
- 新草津川を人や自然とふれあえる楽しく遊べる川にします。



3. こども水の輪会議 のそれから ～式典終了後の展開等～

式典も無事終了し、こども水の輪会議は終了解散となったが、以下の事項がその後の展開として出てきた。

- 記念誌の作成：
「こども水の輪会議」の記念誌（p130程度フルカラー）を作成。



- 地元からの発表要請：
式典での発表が話題となり、栗東市内の自治会から発表の要請があり、（世界水フェアの発表練習も兼ねて）発表を行った。

- 世界水フェアへの参加：
2003年3月 滋賀・京都・大阪で開催された世界水フォーラムの一環である世界水フェアへの参加・発表を行った。

